

グローバルに学び、 グローバルに生きる

文京学院の挑戦

Learning Globally, Living Globally

Bunkyo Gakuin's Approach

文京学院「グローバルに学び、
グローバルに生きる」編集委員会

グローバルに学び、 グローバルに生きる

文京学院の挑戦

Learning Globally, Living Globally

Bunkyo Gakuin's Approach

文京学院「グローバルに学び、
グローバルに生きる」編集委員会

〈編集委員〉

林 寛美 伊東 晋 南部和彦 吉原ひろ子
西村信勝 三村節子 吉村郁夫 三橋尋子
山口裕子

グローバルに学び、グローバルに生きる
文京学院の挑戦

2014 年 10 月 23 日 第 1 刷発行

編 者 文京学院「グローバルに学び、グロー
バルに生きる」編集委員会

発行者 坂 本 喜 杏
発行所 株式会社富山房インターナショナル
〒101-0051
東京都千代田区神田神保町 1-3
TEL. 03 (3291) 2578
FAX. 03 (3219) 4866
URL : www.fuzambo-intl.com

印 刷 株式会社富山房インターナショナル
製 本 加藤製本株式会社



タイ王国のプリンセス・チュラポーン・カレッジ・ベッチャブリー高校の生徒を招いて行われた「サイエンス・フェア」にて（2014年4月、中学・高校）



ロンドン芸術大学付属国際芸術高校理事のコリン・ケリガン氏を招いての「クリエイティブ・ワークショップ」。トイレットペーパーでウェディングドレスを作成した生徒にアドバイスするケリガン氏（2014年6月、中学・高校）



オタゴ女子高校の生徒が来校し、生徒と文化交流を楽しむ
(2014年7月、中学・高校)

英語クラスのオーストラリア語学研修(Aussie BEST)で、St. Hilda's School
の生徒へ日本文化紹介を行う(2014年8月、高校)





第1回「新・文明の旅」プログラムで訪問したアンカラ大学で
交流する派遣学生（2012年2月、大学）

人間学部児童発達学科のアメリカでのフィールドワークに
おける実習風景（2013年3月、大学）





外国語学部のカンボジアでのフィールドワーク中での一コマ。
現地の皆さんと人間綱引きに挑戦（2013年8月、大学）

春季米国短期留学（B.S.I.S.）先の St. John's University での夜の補講。
グループディスカッションを行っている学生たち（2014年3月、大学）



目 次

第1部 理 念 (Philosophy)

自立した個として世界の人々と

「地球市民」を育てる	島田 燐子	6
------------	-------	---

第2部 力 (Commitment)

理念をかたちに

中学校・高等学校		
英語力 (国際塾)・理数力 (SSH)・生きる力 (部活動) を養う	佐藤 芳孝	18
大 学		
短期大学時代から築き上げたグローバル教育	川邊 信雄	27

第3部 実 行 (Practice)

発見し、理解し、力に変える

プロローグ	野 口 昇	40
-------	-------	----

A グローバルと出会う (Discovering Globally)

中学・高校における短期語学研修の歩み	丸山 香奈	44
27年の実績を誇る短期留学プログラム	三村 節子	49
フランスへのゼミ研修で学ぶこととは (外国語学部)	小林 正巳	57
フィールドワークの経験をいかし国際協力の現場へ (外国語学部)	甲斐田 万智子	63

フィールドワーク型授業の先駆的経験（経営学部）	池田 芳彦	69
アメリカ・カプリヨ大学でのフィールドワーク（人間学部）	加須屋 裕子	75
カナダ・ブロック大学でのフィールドワーク（保健医療技術学部）	坂 井 泰	79
第1回「新・文明の旅」プログラムで得たこと	野口 由雄	85
第2回「新・文明の旅」プログラムが狙うこと	絹川 直良	91

B グローバルに学ぶ（Learning Globally）

科学的リテラシーを育てる（中学・高校 SSH）	棚橋 信雄	96
長期留学・交換留学から見てきた次の跳躍	三村 節子	103
海外インターンシップを通して得た成長	千葉 隆一	108
グローバル英語を GCI で育てる	本名 信行・西村 信勝	114
語学・異文化理解留学からグローバルキャリア留学へ	池田 芳彦	121
海外の大学との共同研究（1）マンガ・アニメに見る日本文化	桑子 順子	126
海外の大学との共同研究（2）日本・トルコの経済関係	大野 和巳	131

C 国内でグローバルに触れる（Acting Globally）

国際塾で生徒たちはどのように成長したか	櫻 井 博	136
地球市民への第一歩を後押しする中学・高校のキャリア教育	北野 啓子	143
スポーツを通して世界に触れる	清水 直樹	149
BLEC で培われてきた英語教育システム	清水 公男	154
子ども英語教育センター（CLEC）の長い歩み	椿 まゆみ	159
The Bunkyo Chat Lounge		
Chat in a Relaxed Environment and Enjoy a Cultural Exchange Experience		
	Gary V. Ireland	165

日本研究カリキュラムを取り入れた国際連携教育プログラム — 異文化理解を育む	鷗 浦 裕	171
Understanding the Implied Meaning of Vocabulary : A Key to Cross-cultural Understanding	Sandra F. Tanahashi	176
世界最大級のアニメの祭典に出展する意味	喜多見 康	181

第4部 成果 (Accomplishments)

学生・生徒・教員にあらわれた変化

プロローグ	西村 信勝	188
A 卒業生から (Graduates' Comments)		
三度の留学で得たものを生きる力に	泉 奈 緒	191
フランスで花のアトリエを開く		
— 「やればできる」自分を信じて前へ	大類 優子	193
在タンザニア日本大使館でODA 事業に従事して	本田 愛子	197
世界の子どもたちと		
— エジプトでの活動を終えて	松下 陽子	200
ベトナムでの日本語教師の使命とは	浅川 佑太	203
ネパールでの日本語教師を経験して	古城 絢香	206
理学療法士としてカンボジアで挑戦	楫野 安侑実	209
フィリピンとエルサルバドルでの経験から		
— 私が思う国際支援のあり方	平野 嘉朗	213
客室乗務員の夢を叶えて、次のステップへ	宮 路 紅	215
第1回「新・文明の旅」プログラムに参加して見つけたもの	福嶋 友美	218

B 保護者から (Parents' Comments)

娘が国際塾で得た自立とグローバルに生きる力	藤原 淳賀	221
スーパーサイエンスハイスクール (SSH) がくれた夢	真田 ますみ	224

C 海外の大学の先生から (Teachers' Comments)

Creating Global Citizens for the Future	Dr. David Bennetts	227
ソフィア大学 (ブルガリア共和国) より		
— 「新・文明の旅」 プログラムがつないだ絆	アントン・アンドレエフ	234

第5部 未来 (Future)

終わりなき挑戦

今を見据え、明日を生きる学生・生徒に寄り添う	島田 昌和	238
あとがき	林 寛美	245
文京学園グローバル教育のあゆみ		248

目 次

第 1 部 理 念 (Philosophy)

自立した個として世界の人々と

「地球市民」を育てる	島田 燐子	6
------------	-------	---

第 2 部 力 (Commitment)

理念をかたちに

中学校・高等学校 英語力 (国際塾)・理数力 (SSH)・生きる力 (部活動) を養う	佐藤 芳孝	18
大 学 短期大学時代から築き上げたグローバル教育	川邊 信雄	27

第 3 部 実 行 (Practice)

発見し、理解し、力に変える

プロローグ	野 口 昇	40
-------	-------	----

A グローバルと出会う (Discovering Globally)

中学・高校における短期語学研修の歩み	丸山 香奈	44
27 年の実績を誇る短期留学プログラム	三村 節子	49
フランスへのゼミ研修で学ぶこととは (外国語学部)	小林 正巳	57
フィールドワークの経験をいかし国際協力の現場へ (外国語学部)	甲斐田 万智子	63

フィールドワーク型授業の先駆的経験（経営学部）	池田 芳彦	69
アメリカ・カプリヨ大学でのフィールドワーク（人間学部）	加須屋 裕子	75
カナダ・ブロック大学でのフィールドワーク（保健医療技術学部）	坂 井 泰	79
第1回「新・文明の旅」プログラムで得たこと	野口 由雄	85
第2回「新・文明の旅」プログラムが狙うこと	絹川 直良	91

B グローバルに学ぶ（Learning Globally）

科学的リテラシーを育てる（中学・高校 SSH）	棚橋 信雄	96
長期留学・交換留学から見てきた次の跳躍	三村 節子	103
海外インターンシップを通して得た成長	千葉 隆一	108
グローバル英語を GCI で育てる	本名 信行・西村 信勝	114
語学・異文化理解留学からグローバルキャリア留学へ	池田 芳彦	121
海外の大学との共同研究（1）マンガ・アニメに見る日本文化	桑子 順子	126
海外の大学との共同研究（2）日本・トルコの経済関係	大野 和巳	131

C 国内でグローバルに触れる（Acting Globally）

国際塾で生徒たちはどのように成長したか	櫻 井 博	136
地球市民への第一歩を後押しする中学・高校のキャリア教育	北野 啓子	143
スポーツを通して世界に触れる	清水 直樹	149
BLEC で培われてきた英語教育システム	清水 公男	154
子ども英語教育センター（CLEC）の長い歩み	椿 まゆみ	159
The Bunkyo Chat Lounge		
Chat in a Relaxed Environment and Enjoy a Cultural Exchange Experience		
	Gary V. Ireland	165

日本研究カリキュラムを取り入れた国際連携教育プログラム — 異文化理解を育む	鷗 浦 裕	171
Understanding the Implied Meaning of Vocabulary : A Key to Cross-cultural Understanding	Sandra F. Tanahashi	176
世界最大級のアニメの祭典に出展する意味	喜多見 康	181

第4部 成果 (Accomplishments)

学生・生徒・教員にあらわれた変化

プロローグ	西村 信勝	188
A 卒業生から (Graduates' Comments)		
三度の留学で得たものを生きる力に	泉 奈 緒	191
フランスで花のアトリエを開く		
— 「やればできる」自分を信じて前へ	大類 優子	193
在タンザニア日本大使館でODA 事業に従事して	本田 愛子	197
世界の子どもたちと		
— エジプトでの活動を終えて	松下 陽子	200
ベトナムでの日本語教師の使命とは	浅川 佑太	203
ネパールでの日本語教師を経験して	古城 絢香	206
理学療法士としてカンボジアで挑戦	楫野 安侑実	209
フィリピンとエルサルバドルでの経験から		
— 私が思う国際支援のあり方	平野 嘉朗	213
客室乗務員の夢を叶えて、次のステップへ	宮 路 紅	215
第1回「新・文明の旅」プログラムに参加して見つけたもの	福嶋 友美	218

B 保護者から (Parents' Comments)

娘が国際塾で得た自立とグローバルに生きる力	藤原 淳賀	221
スーパーサイエンスハイスクール (SSH) がくれた夢	真田 ますみ	224

C 海外の大学の先生から (Teachers' Comments)

Creating Global Citizens for the Future	Dr. David Bennetts	227
ソフィア大学 (ブルガリア共和国) より		
— 「新・文明の旅」 プログラムがつないだ絆	アントン・アンドレエフ	234

第5部 未来 (Future)

終わりなき挑戦

今を見据え、明日を生きる学生・生徒に寄り添う	島田 昌和	238
あとがき	林 寛美	245
文京学園グローバル教育のあゆみ		248

理念

第 1 部

—— 自立した個として世界の人々と ——

Philosophy

「地球市民」を育てる

学校法人文京学園理事長・学園長 島田 燐子

1 本書の願い ― 創立者の考えたことに学ぶ

私たちは、これからのグローバル化社会を生きる人間像として、「自立し、共生して世界に生きる人間像」を描き、それに相応しい個人を育てたいと考えています。この人間像がどのようなものなのか。本書はそれを皆様にお伝えしたいと編集・刊行されました。

実は、これはまさしく文京学園が創立の時から目標としてきたものに他なりません。文京学園の創立者島田依史子（1902－1983）氏は、わが国が開国して「西洋に追いつけ、追いつけ」と坂の上の雲を仰ぎ見る明治の半ばに生まれ、育ちました。当時のわが国は、1894（明治27）年に日清戦争に勝利して朝鮮半島の植民地化に着手しました。彼女が生まれた2年後の1904（明治37）年には、わが国は中国大陆に進出して、当時世界最大のロシア帝国を相手に戦い、ついにこの日露戦争に勝つという時代にありました。

彼女は「本郷」という大学街で育ったことで、文明開化で社会が変化していくことに敏感になり、読書を通じて知識を吸収していきます。そして一般の女性が義務教育の小学校より上の教育を受ける機会に乏しく、自立する力が弱く、男性に忍従して生きるしか術がないことに鋭く批判的な精神を持っていました。

彼女は、子ども心に自立するための教育の重要性を認識して、教員資格を得たいと切望しました。当時、女性の高等教育機関であった東京女子高等師範学校（現お茶の水女子大学）に入学して、出来れば留学をしたいのが私の夢であったと直接伺ったことがあります。後に自ら学校を開いて、女性たちの自立を助けるのに寸暇もない生活を送るようになりますが、「当時洋行（留学）するには千円かかるときいていたから、それだけは貯金して、行ける